



「経験に勝るものなし」



梅雨の晴れ間に、子どもたちの元気な声が校庭に響いています。子どもたちは、蒸し暑さの中でも元気に学校生活を送り、学びや友達との関わりを通して、日々成長しています。

先週の6月23・24日に「みどりの学校」を実施しました。5年生の子どもたちは、自然豊かな環境の中で様々な体験を通して、多くの学びを得ることができました。一日目のこどもの国ではポイントオリエンテーリングを行いました。みどりの学校クイズに挑戦してボーナスポイントを獲得したり、ことばづくりゲームを行ったりと、班の仲間と協力して活動しました。「(地図を見て) こっちに行ってみよう。」「もうちょっとだよ。がんばろう。」と声を掛け合う姿も見られ、温かな気持ちになりました。二日目の飯盒炊飯では、家庭科の授業で習ったじゃがいもの皮むきだけでなく、人参や玉ねぎも慣れない手つきで切り、かまどの火にかけ、カレーを作りました。手の空いている人は使用した道具を洗ったり、テーブルの上を整頓したりと、自分ができることを見付けて行動していました。

「おいしい!」「ちょっと水が多すぎた…」といろいろな声が聞こえてきましたが、子どもたちはとても満足気で、みんなで力を合わせて作ったカレーライスの味は格別だったと思います。

この二日間を通して感じたことは、「経験に勝るものなし」ということです。初めはできなかったことがやっていくうちにできるようになったり、失敗してもその経験を基に次に生かしていったりと、実際に経験することで得られる学びは、子どもたちの心に深く残り、大きな力となっていきます。ご家庭でも、お手伝いをしたり身の回りの管理をしたりする等、子どもたちが経験を積み重ねる機会を作っていただけるとありがたいです。

7月は、4月から夏休み前までのまとめの時期となります。学習面や生活面で、これまでの取組を振り返り、一人一人の成長をしっかりと認めながら、次のステップへとつなげていきたいと考えています。また、暑さが厳しくなる時期でもありますので、体調管理にも十分留意し、安全で充実した学校生活を送れるように努めていきます。ご家庭でも、規則正しい生活や健康管理へのご協力をお願いいたします。

6月のできごと



2・6年生の梅祭り

2年生の梅シロップづくり

6年生の梅干しづくり

3年生の学区探検